学校番号	1006

令和二年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	精選現代文Ｂ　改訂版（三省堂）						
副教材等	３回書き込み式　標準漢字練習（とうほう） 読解現代文必携　キーワードの卵（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

言語を使って考え、それを表現することはいかなるときでも必要とされる力です。卒業して社会に出る一歩前の今の時期に、さまざまな文章や言葉から学んで、ものの見方・価値観を広げていきましょう。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	ａ．関心・意欲・態度	ｂ．話す・聞く能力	ｃ．書く能力	ｄ．読む能力	ｅ．知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート・プリント等）	行動の観察 （発表やグループ活動）	記述の確認 及び分析 （プリント）	記述の確認 及び分析 （プリント・定期考査）	行動の確認 記述の確認 （ノート・プリント・小テスト・定期考査）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	評論	「わかりやすいはわかりにくい？」	○	○		◎	○	a:考えの進め方など文章の筋道を的確に捉えようとしている。 b: 本文に依拠しながら、自分の考えを伝えることができる。 d:筆者の主張を理解し、その重要性について考える e:論理的な文章の読み方を習得する。	a・b:行動の観察・記述の点検 d: 記述の確認及び分析 e: 行動の確認・記述の確認
2	小説	「鞄」	○	○		◎	○	a:象徴的・予兆的な表現から人物、情景、心情などを捉えようとしている。 b: 本文に依拠しながら、自分の考えを伝えることができる。 d: 象徴的・予兆的な表現から人物、情景、心情などを捉えている。 e:小説のおもしろさを味わい、読解の仕方を習得する。	a・b:行動の観察・記述の点検 d: 記述の確認及び分析 e: 行動の確認・記述の確認
3	短歌・俳句	「渡り鳥―俳句十五句」	○	○	◎	◎	○	a:文章に用いられている文体や語句、表現から構成を確かめ、内容を考察しようとしている。 b: 本文に依拠しながら、自分の考えを伝えることができる。 c: 俳句の鑑賞を生かし、自ら俳句を創作することができる。 d: 文章に用いられている文体や語句、表現から構成や展開を確かめ、内容を考察している。 e:言葉の歴史について理解を深め、自らの言語生活を見つめなおしている。	a:行動の観察・記述の点検 d: 記述の確認及び分析 e: 行動の確認・記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。